

みずほCustomer Desk Report 2023/09/27号 (As of 2023/09/26)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.93
TKY 9:00AM	148.82	1.0591	157.59	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	149.18	1.0609	157.91	1.2213	0.6423
SYD-NY Low	148.71	1.0562	157.33	1.2216	0.6430
NY 5:00 PM	149.06	1.0573	157.61	1.2154	0.6388
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,618.88	▲ 388.00	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	13,063.61	▲ 207.71	日本10年債	0.7400%	0.0100%
S&P	4,273.53	▲ 63.91	米国2年債	5.1315%	0.0065%
日経平均	32,315.05	▲ 363.57	米国5年債	4.6188%	0.0073%
TOPIX	2,371.94	▲ 13.56	米国10年債	4.5489%	0.0185%
シカゴ日経先物	31,905.00	▲ 590.00	独10年債	2.7970%	0.0095%
ロンドンFT	7,625.72	1.73	英10年債	4.3255%	0.0030%
DAX	15,255.87	▲ 149.62	豪10年債	4.4110%	0.0970%
ハンセン指数	17,466.90	▲ 262.39	USDJPY 1M Vol	8.37%	0.48%
上海総合	3,102.27	▲ 13.33	USDJPY 3M Vol	9.38%	0.19%
NY金	1,919.80	▲ 16.80	USDJPY 6M Vol	9.48%	0.21%
WTI	90.39	0.71	USDJPY 1M 25RR	▲0.93%	Yen Call Over
CRB指数	284.72	▲ 0.22	EURJPY 3M Vol	9.40%	0.26%
ドルインデックス	106.23	0.23	EURJPY 6M Vol	9.73%	0.29%

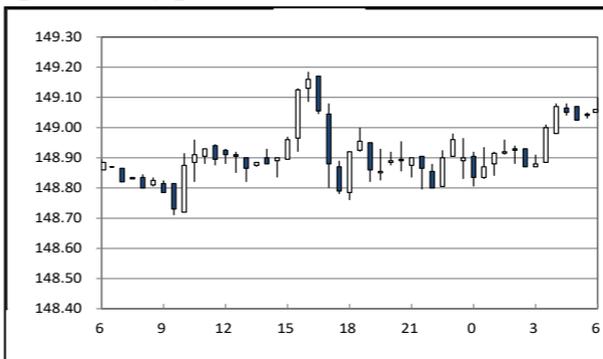
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
9月26日	23:00	米	新築住宅販売件数	8月 675k	698k
	23:00	米	コンファレンス・消費者信頼感	9月 103.0	105.5

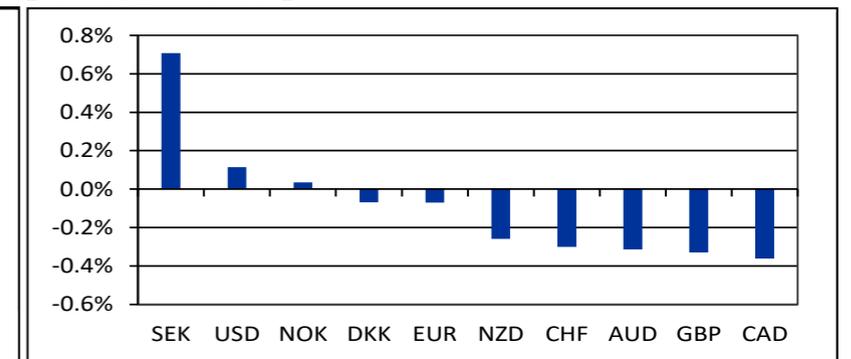
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
9月27日	08:50	日	日銀金融政策決定会合議事要旨(7月分)	-	-
	21:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米	耐久財受注(前月比)・速報	8月 -0.5%	-5.2%
	21:30	米	耐久財受注(除輸送用機器)・速報	8月 0.2%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.50-149.50	1.05000-1.0630	157.00-158.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は149円前後でもみ合う展開となった。米金利の上昇もサポートにドル円は東京時間から底堅い動きが継続し一時149.18まで上昇し年初来高値を更新。その後の鈴木財務大臣の円安けん制発言に小幅に切り下げたものの、海外時間に入っても底堅く推移し、149.06レベルでクローズ。
 本日のドル円は横ばい圏での動きを予想。昨日の鈴木財務大臣の発言はこれまでの発言から大きな変化があったわけではないが、為替は大きく反応しており、150円の台に近づくなか、市場の為替介入への警戒感が高まっている様子であり、ドルを買い進む動きも限られそう。明日に米国四半期GDP、パウエル議長発言などイベント控える中、本日は海外時間に目立ったイベントもなく方向感はいくいとみる。149円付近でのレンジ推移が続こう。

東京	東京時間のドル円は148.82レベルでオープン。昨日の米長期金利の上昇も支えとなり日中のドル円は底堅い推移となった。東京時間クローズ前には高値149.13を付け同レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、149.13レベルでオープン。早々に149.18まで上昇し年初来高値を更新するも、鈴木財務相の牽制発言が報道されると148.76まで売られる。その後はもみ合って148.91レベルでNYに渡った。なお本日ハンガリー中銀が、政策金利の翌日物預金ファシリティ金利を1%ポイント引き下げ13%としたが、予想通りであったこともありフォントへの影響は限定的だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台後半でスタート。東京仲値にかけてドル買いが先行し、148.96まで上昇。その後も米金利が引き続き高水準で推移する展開に支えられ149.18を付け、連日年初来高値を更新。鈴木財務相が「高い緊張感を持って市場動向見ている」との見方を示した事を受け、為替介入への警戒感から円買いが進み、148.76まで反落する場面もあったが、売りは限定的で148.91レベルでNYオープン。朝方発表された米8月新築住宅販売件数と米9月CB消費者信頼感指数が共に予想を下回ったことから148.80まで売られ、その後も148.90辺り挟んで小動き。午後148.90付近での膠着感が強い展開が続き、終盤には149.10まで小幅上昇し、その後149.06レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。じり安での推移が続き、1.0570まで値を下げる。その後、シカゴ・リニア中銀総裁の「利下げ時期について回答を急ぐことはない」との発言を受け、ユーロが買い戻され、1.0599レベルでNYオープン。朝方は1.0609まで続伸するも、低下していた米金利が上昇する動きが重しとなり、1.0569まで反落。午後ユーロ安の流れが続き、1.0562まで下落。その後小幅反発し、1.0573レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・西